

利用成果報告書

- 1 課題番号 R3-E02
- 2 報告者 入江直樹 東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻
- 3 利用区分 成果公開有償利用
- 4 利用課題名 移入した母由来細胞の生理的意義解明
- 5 使用装置名 FACS Aria
- 6 利用期間 令和 3年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月 31日
- 7 利用成果・実績の概要 MHCハプロタイプ(H2-KbとH2-Dd)とジフテリア毒素受容体(DTR)抗体を用いて、生後14日目のH2-Kb(+/-)H2-Dd(+/-)DTR(+/-)のマウス仔細胞の中から母由来細胞 [H2-Kb(+/-)DTR(-/-)]を胸腺と脾臓からソーティング、単離する実験を行った。母由来細胞数の定量は、FACSソーティングした後、さらにTaqMan qPCRにより行った。母由来細胞がジフテリア毒素で除去したサンプルとコントロールサンプルで比較したところ、脾臓において母性細胞の除去が13.6分の1にまで減少していることが確認できた。
- 8 社会・経済への波及効果 胎児に移入した母由来細胞が、出生後もどのような役割をもっているかを明らかにすることが期待できる。
- 9 学会等における口頭・ポスター発表 該当無し
- 10 学会誌・雑誌等における論文掲載 該当無し